かざし

46号
令和５年８月１日
編集・発行　新潟県立大学同窓会「かざし会」
http://www.kazashikai.net
印刷所　㈱第一印刷所

はばたけ海老ヶ瀬から ～卒業生はいま～

海老ヶ瀬から羽ばたいていった卒業生は、いまどんなところで活躍し、また、どんな学生生活を過ごしていたのでしょうか。長野県のクラフトビール醸造所で働く卒業生をご紹介します。

伊藤　奨悟 さん
（Anglo Japanese Brewing Company合同会社）

いとう しょうご／長野県出身。新潟県立大学国際地域学部2015年３月卒業。2019年10月Anglo Japanese Brewing Company合同会社入社。ビールの製造、出荷、販売業務担当

今の職業に興味を持ったきっかけは何ですか

卒業研究の題材として、新潟県内の小規模ビール醸造所を取り上げたことがきっかけです。当時、ドイツにおけるビール文化と地域経済の結びつきについて書かれた文献に興味を持ち、それを新潟県内のビール醸造所とその地域に置き換え、研究対象としました。リサーチのため、県内のビール醸造所を訪れると、ビールの地域性、表現の多彩さ、奥深さ、そしてそれに携わる方々のビールに対する熱いパッションを感じました。そしてナショナルブランドの、全国どこでも手に入るような大量生産、大量消費の均一的なものと反する、限られた場所で少量生産、少量消費により実現する地域との結びつきや、生産者と消費者の結びつきに心惹かれました。このような流れが新しい社会、文化を作っていくのではないかと感じ、自分自身その道を歩もうと決心しました。

現在のAnglo Japanese Brewing Company合同会社（以後AJB Co.）に至ったのは、旅行で訪れた野沢温泉村での出会いがきっかけでした。「里武士」という、AJB Co.が直営する店舗はカウンターのみの７席程度の大きさで、12種類の自社製造のビールを楽しむことができます。初めて訪れた際、温泉街の中心にあるその店舗は、多くの観光の方で賑わっていました。そして驚かされたのは、豊富な種類とその味わいです。どれも型にはまらない自由なテイストで、挑戦的な一面も味わいから感じ取れ、鳥肌が立つほどでした。こんなにもビールで感動できるとは思っておらず、一瞬で虜になりました。そんな出会いを果たし、今は提供する立場として働いています。

仕事の内容や、やりがいを感じていることを教えてください

基本的に僕らが作るビールは「僕らが飲みたいビール」です。もちろんビジネスなので、ある程度売れるものでないといけませんが…。見た目はもちろん、製造方法、使用する原料は何百、何千通り（おそらく数えきれないでしょう）もあり、ビールの種類は100種以上あるといわれています。特に「作り」に関しては一種の料理の感覚に似ています。その中でこんな感じにしたいとイメージを決めて作るのですが、100%は思うようにならないのが、難しく、面白いところです。

入社して初めて自分で作ったレシピ（工程や使用する麦芽やホップを決めたもの）に挑戦した結果、大きく２つ得られたことがありました。一つは使用する原料の組み合わせや工程で、いくつか見直したい点を見つけられたことです。自分がイメージする味わいにするための、次につながる経験を得られました。もう一つはお客様の反応です。正直なところ、自己採点としては100点満点中50点でした（味はしっかりと提供できるものです）。しかし自分の評価とは裏腹に、お客様

▶ 次ページに続く

令和５年度（2023年度）新潟県立大学同窓会「かざし会」総会のご案内

1　**日時**　令和５年10月１日（日）午前10時より
2　**会場**　新潟県立大学コモンズ３号館２階5205講義室
3　**受付**　９：30～
4　**総会**　10：00～
5　**在学生による活動発表**
　・健康栄養学科学生「にいがた和牛をひろめ隊」
　・アカペラサークルパフォーマンス
6　**学内見学案内**　希望者　12：00～
7　**会費**　無料
8　**申込み**　同封のはがきで　８月31日必着
9　**その他**
　・懇親会は行いません。
　・記念にお土産をお持ち帰りいただきます。

からは、「おいしい」と言っていただく事が多く、一安心しました。ビールの味が評価されることだけが大事なのではなく、その後のお客様の反応の方が大事なことだと強く感じました。偶然居合わせたお客様同士が、自分が提供したビールを飲みながら楽しく会話をし、その場を過ごす姿は、何よりもうれしい場面でした。

自分自身の作り出したビールを通じて、目の前の人の「楽しい時間、空間」を創り出せていたことに、じわじわと高揚感を得ることが出来ました。その時、弊社代表の「良いビールには良いコミュニティが生まれる」という言葉を思いだし、改めて僕らが行う仕事の意義、やりがいを強く感じることができました。

大学での学びが今の仕事に活かされていると感じることはありますか

４年間の学びの中で、一番大きく影響を受け、活かされているなと感じていることは、人や物事を表面的ではなく、多面的にとらえ、感じ、考え、そして反応することです。特に記憶にあるのは、多文化社会に触れる講義で学んだ「相手を受け入れ認めること」や、大学３年の際のフィールドワークで体験した、目の前にある環境を歴史、文化、建築、生活の要素で見つめることで、ありとあらゆる見え方ができるということでした。これらは、特に２つの点で活かされていると感じています。一つ目は、共に働く同僚や、お客様、業者さんなど、携わる方々とのコミュニケーションをとる上で大きく活かされていると感じています。仕事を円滑に進めるうえで、人間関係は切り離せないものです。目の前の相手を理解しようと努力すること、そして自分の中の最善解を提示し、関係を構築していく、これの繰り返しです。特に今働く野沢温泉村は、冬になると多くの海外からのお客様が訪れ、彼らとのコミュニケーションが必須となります。ここで４年間培った英語教育が生きているのですが、それ以上に、文化や考えの違いを受け入れ、尊重しながらやり取りをしています。ビールの提供の仕方やサービスの仕方など、そこまで長い時間を過ごすわけではありませんが、いい時間を過ごしてもらうためになるべく相手を見て行動しています。余談ですが、一つ面白いなと思ったことが、彼らの温泉の入り方です。野沢には地元の人も生活の一部として利用し、かつ誰でも利用できる公衆浴場があるのですが、きちんと示されたルールを守ってくれています。すると、言葉は通じなくとも、地元の年配の方々などとのコミュニケーションの壁が低くなり、お互いに楽しく過ごすことができていました。その姿から、相手の文化、考えを大事に尊重することでいい関係を保てるのではないかと感じました。そして二つ目は、ビールの味わいのヒントを得られることです。ビールと言っても一つの食の分野に収まるもので、自分たちが新たに生み出す味わいをどうやって探り、形にするか、僕らは常日頃そのようなことを考えています。そのため、普段の食事をしっかりと感じて味わう事がものすごく大事なことになります。例えば「ハンバーグ」を例に考えてみると、何の肉を使用しているのか、味付けにはどんな調味料を使っているのか、ソースは何をベースにしているのか、これをつくった料理人はどんな意図をもってこの味わいにしているのか。そう思考することにより、まったく別の食べ物から、ビールの味わい作りへのヒントが得られることがあります。ただ食べるだけでは見えてこなかったものが、大学で学んだ思考を使うことで、このように仕事に活かされていると感じています。

今後の目標を教えてください

僕の将来の夢は、地域を担うコミュニティを創造することで、その地域で生活する人々が精神的豊かさを保ち、居心地良く生活できるようにすることです。これは在学中に学んだ「地域づくり」が大きく影響しています。そのために、まず、自分で開業し、醸造所兼バー（ブリューパブ）を持つことを一つの目標としています。これは、自分の将来のビジョンを実現させるための一つのステップだと考えています。建物や自然環境は、まちや地域をつくる要素として表面的に捉えられがちですが、僕は、人と人がより良く結びついたコミュニティこそが「よりよい地域」をつくるのではないかと考えています。その結びつきを作り出し、人々が集い、交じわることができる場所の一つが、将来自分ではじめたいと考えているブリューパブだと思っています。お酒がコミュニケーションの円滑材になるのは言わずと知れていますが、ビールほど多種多様な味わいを生み出せる醸造酒はないと思っています。10人いれば10人それぞれに合わせた味わいを生み出し、提供する。味が均一化されていないからこそ、違いを楽しみその奥深さに感動できる。人と人の付き合いも、まさに同じなのではないかと考えています。考えや文化の違いを楽しみ、お互いを認める。ビールを通じて人がつながり、楽しみ、そこから新しい「コミュニティ」が生まれ、新しい「まち、地域」を担うものになっていくのかもしれない。そんなことが自分の生み出したものを通じて、繰り広げられたらと考えたら、ワクワクしてきます。現在の職を通じて、スキルや経験など、多くのことを学び、自分のものにしていくよう、常に意識して働いています。

コロナからの回復と新たな歩み

新潟県立大学学長
若杉　隆平

新型コロナウイルス感染症拡大により、長きにわたり制約されてきた大学の教育研究は、ようやく本来の姿を取り戻し、本学は新たな教育研究に向けて大きく歩んでいます。そのいくつかを御紹介します。

まず、大学院健康栄養学研究科が設置され、新分野の教育研究が始まりました。食と健康に関する高度専門人材を育成する大学院として、昨秋、文部科学省の設置認可を得て、この4月に5名（定員）の新大学院生が入学しました。食と健康に関わる新潟の研究機関・企業・行政等の専門実務家が本学の教授陣に加わった重厚な教育研究体制の下で、院生諸君は栄養管理、食品開発、健康の保持・増進のための制度・政策の各分野での高度専門人材を目指して修学しています。

また、附置研究所として北東アジア研究所を開設しました。新潟県が出資した環日本海経済研究所の解散に伴い、本学が事業を継承し、この4月から北東アジア地域の経済社会研究を開始しました。教育を主とする本学に、新たな研究機能が付加されることになりました。日本を代表する研究機関として北東アジアの研究を蓄積し、その成果を教育や産業の発展に生かしたいと思います。

社会のデジタル化が進み、デジタル人材の育成は待ったなしの課題です。本学は、昨年春に、デジタルと産業を結ぶ人材を育成する文部科学省事業の実施大学に選ばれ、また、昨年夏には、数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定校となり、データサイエンス教育センターを設置して、データサイエンス教育に積極的に取り組んでいます。学生の高い修学意欲に応えて、デジタル人材育成にさらに力を入れていきます。

国際性の涵養は本学の基本理念の一つです。昨年度は新たにフィリピン、モンゴル、リトアニアの拠点大学との間で交流協定を結び、新型コロナ感染症収束後の国際交流の再開・拡大に備えてきました。学生・教員の国際交流がさらに活発になることを期待しています。

今年は、本学創立15年目、前身の県立新潟女子短期大学創基60周年の節目にあたります。これからも皆さんから期待される大学として歩み続けます。

人と人とをつなぐ架け橋として

新潟県立大学同窓会「かざし会」
会長　白井　智佳子

年々、一年が早く過ぎていくように感じる今日この頃です。会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。新型コロナウイルス感染拡大からもう四年目となりました。感染は収束せずとも、人はその中で様々な対処法を身に付け、コロナ前の日常を少しずつ取り戻し始めています。

そのような中、昨年度は、十月に総会を新潟県立大学新校舎コモンズ3号館で行うことができました。うれしいことに県外の会員の方も参加され、多くのご意見・ご質問を受けることができました。これは、対面で行うことができたからこそ得られた大きな収穫であったと、参加された方々に感謝いたします。総会後は、国際経済学部教授の秋山太郎先生から、演題「日本経済の停滞と今後」という内容の講演をお聴きすることができました。日本の科学技術や金融政策の課題、経済成長率促進に必要な無形資産投資の重要性等、経済に疎い私にとっても興味深いお話でした。

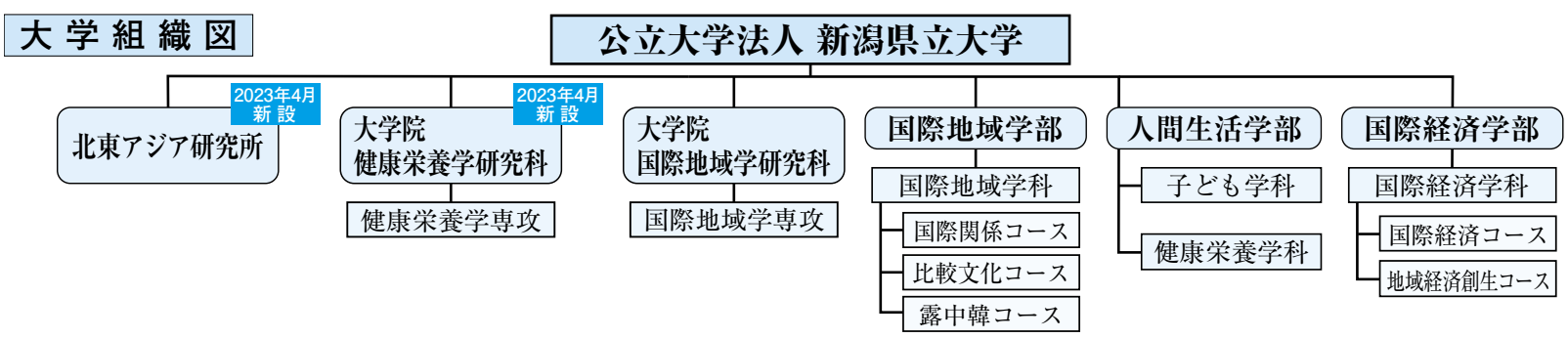
そして、令和五年度の総会も新潟県立大学で行う予定です。今年度は、コロナ禍で実現できずにいた在学生との交流の機会として、学生の研究発表とアカペラサークル（会報1頁・総会案内参照）の発表を計画しております。多くの方のご参加をお待ちしています。

さて、かざし会の役割の一つとして、各科同窓会員の研修・交流・親睦等の取組を支援していくことが挙げられます。各科の補助金の上限を令和五年度より30万円から40万円（会報8頁・予算案参照）に増額することとしました。各科の同窓会会員の皆様に還元されていきますことを願っております。

これまで、かざし会では、執行部員の減少が課題となっており、改善に向けて取り組んできました。その成果として、昨年度の総会では「執行部員についての会則改正議案」が承認されました。今年度から各科同窓会から2名の執行部員が加わり、総勢18名で運営を行うこととなりました。これを機会に執行部員の役割分担を見直し、共通理解を図り、四月より新体制で活動に取り組んでいます。近年の傾向として、このような組織の必要性に対する意識の低下は致し方のないこととも思っております。しかし、私自身、この役に携わらせていただく中で、多くの方と出会い、先輩・後輩からの前向きなお声を耳にする度に、同窓ならではの繋がりを感じております。

最後に、会員の皆様にとって、かざし会の存在が、人と人とをつなぐ架け橋になっていくことを願っております。

大学組織図



令和4年度かざし奨励賞受賞者と横顔紹介

令和４年度かざし奨励賞受賞者・団体

受賞者・団体名	取　組　概　要
そらいろ子ども食堂	子どもたちの食事支援を継続して行っている。コロナ対応のために食品配布を中心に地域支援を行ってきたが、最終回には会食型の開催ができた。
チームまさる	「新潟食と農の未来」学生ビジョンコンテスト2022に「新潟県におけるプラントベースフード市場開拓の可能性」という研究課題で応募し、決勝に進出し発表した。
PEANUT	新潟市の母子生活支援施設を訪問して子どもたちの学習支援と乳幼児の保育を継続して行った。週１回の訪問や長期休みの勉強会の開催等の実施は長期にわたって継続している。
NicolvE（ニコルブ）	留学生と在学生の交流会を企画し、留学生が大学生活に馴染んで相談しやすい環境を作った。国際交流や地域応援につながる活動を進めた。
松井大地	週１回８～９時間の新潟市立中学校の特別支援ボランティアと学習支援・授業補助ボランティアを継続して行った。

令和４年度卒業式での
奨励賞授与の様子

令和５年３月20日　朱鷺メッセ

かざし奨励賞受賞者の活動の様子を一部紹介します

チームまさる

国際経済学部ゴルシコフビクトルゼミ３年生４名は研究テーマに沿った調査研究を行い、第１回「にいがた食と農の未来」学生ビジョンコンテストにエントリーし、亀田製菓特別賞を受賞した。新潟県の食品産業関係者の評価を受けた。プラントベースフードという新たな視点での新潟の食の可能性を広げる提案ができた。

コンテストでの表彰式とトロフィー

同窓会組織図

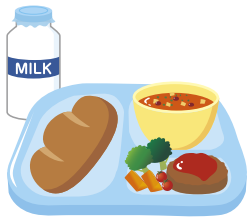
◎全学同窓会
新潟県立大学同窓会
「かざし会」

◎各科同窓会

- 県立新潟女子短期大学　家政科被服専攻・生活科学科生活科学専攻同窓会「あかね会」（平成29年度で休会）
- 県立新潟女子短期大学　家政科食物専攻・生活科学科食物栄養専攻（含専攻科）
- 県立大学　人間生活学部健康栄養学科
  - 同窓会「**さんしょの会**」
- 県立新潟女子短期大学　幼児教育科・幼児教育学科
- 県立新潟女子短期大学　生活科学科生活福祉専攻
- 県立大学　人間生活学部子ども学科
  - 同窓会「**まなざしの会**」
- 県立新潟女子短期大学　英文科・英文学科同窓会「**シュリンプクラブ**」
- 県立新潟女子短期大学　国際教養学科同窓会（平成29年度で休会）
- 県立大学　国際地域学部・国際地域学科同窓会「UNP RICE」

そらいろ子ども食堂

６年目となった子ども食堂の活動は、コロナ感染拡大防止のため、会食型の開催ができなかったが、12月より本来の子ども食堂の開催が可能になり、地域の親子の居場所として喜ばれている。



NicolvE（ニコルブ）

10月まではInstagramでの交流だった。（新潟の祭りや景色、エコクッキングの紹介）10月の交流会ではチームに分かれてのゲーム大会で親睦を深めた。11月には新潟市の海岸でのゴミ拾い甲子園in2022に参加したことで他大学や団体、地域との交流にもつながった。

松井　大地

新潟市教育委員会の中学校学習支援ボランティアに応募し、市立中学校で週１回８時間学習支援に参加した。机間支援、音読練習や会話のデモ提示、教材製作、下校指導、行事運営補助など多岐にわたる業務に携わった。生徒の学習の困難解決に少しでもつながったのではないかと感じている。新潟市に教員として採用が決まり、令和５年度より英語の教員として勤務している。

国際地域学部11期生松井大地です。
昨年度公立中学校にて学習ボランティアとして参加しました。そのことがかざし奨励賞受賞という形で認められたことは社会人として現場で働く上で大きな自信に繋がりました。在学中の皆さんにもボランティア活動を通じて様々な経験をしていただきたいと思っています。限りある時間を有効に活用してください。応援しています。

作成した教材

《《《仲間で集まりませんか！》》》

かざし会では、同級会や同期会、学年を超えたミニ同窓会などの際には、１回につき１万円を補助します。これは、ネットワークを作り、同窓会の力を活用してもらおうという趣旨で、仲間が集まる機会を応援するものです。

同窓会ホームページの「各種書類フォーム」のバナーから入ると、申請書をダウンロードすることができます。必要事項を記入して各科同窓会会長に提出すれば手続きは完了です。卒業生の皆さん、どうぞご活用ください。

令和４年度　総会の様子

総会・講演会
日時　令和４年10月２日（日）10時から
会場　新潟県立大学

新型コロナウイルス感染症拡大により中止が続いた総会を３年ぶりに開催することができました。

総　会

● 白井会長挨拶・福嶋副理事長ご挨拶
● 議事　・令和３年度事業報告
　　・令和３年度決算報告・監査報告
　　・役員紹介
　　・令和４年度事業計画案
　　・令和４年度予算案
　　・会則改正について

すべての議案が承認されました。

講 演 会

● 講師：国際経済学部
　　学部長　秋山　太郎　様
● 演題：「日本経済の停滞と今後」

学内見学

秋山学部長ご講演

白井会長説明

福嶋副理事長ご挨拶

役員紹介

創立10周年記念募金について報告

令和元年に創立10周年を迎えた県立大学。その際に創立10周年・創基56周年記念事業の一環として、記念募金が企画・実施されました。同窓会かざし会では県立大学のさらなる発展と充実を願い100万円を寄付いたしました。
記念募金について田邊直仁教授からお話を伺いました。

記念募金では同窓会かざし会様より、また、個人としても多くの同窓会員の皆様から大変貴重なご寄付をいただきました。募金活動に携わった教職員の一人として、心から御礼申し上げます。大学では記念募金による寄付金を原資として、現在２つの事業が実施されています。

【緊急修学支援金】
家計急変によって修学の継続が困難になった学生に対する緊急支援措置として一時金を給付します。予期せず生じた経済的困窮にも負けずに学業を継続したいと願う学生の切実な思いと努力に応えるための、大変大切な事業になっています。

【低学年対象インターンシップ等参加に係る交通費助成事業】
１～２年次の学部生がインターンシップや職場見学等に参加する交通費の一部を助成します。目標とする将来像を早期からイメージできるようにする取り組みを促進し、学生がキャリアプランをたてるための一助としています。

なお、新型コロナウイルス感染症の５類への移行を受けて学生の活動が活発になってきており、海外におけるボランティア等の優れた活動を支援する「グローバル活動支援事業」や、サークルが地方大会から上位大会へ進出した際の遠征費用を援助する「サークル活動支援事業」の必要性が高まっています。また、新たな校舎（コモンズ３号館）の完成を受け、学生の福利厚生や学生活動の環境整備を行う「学生活動施設設備等支援事業」を検討する良い時期にもなってきました。この度の記念募金による寄付金は、学生一人一人が安心して充実した学生生活を送ることに役立てるため、これらの事業にも活用されてまいります。まことに、ありがとうございました。

会員からのメッセージ

昨年も、多くの方々がメッセージを寄せてくださいました。一部ですがご紹介いたします。

「かざし45号」の「卒業生は今」の記事に感動しました。伊藤美祐さんは私と同郷なので、なお心を動かされました。今後も記事を楽しみにしています。
食物科　15回生　Y.H.さん

「かざし45号」で見た伊藤美祐さんが、開発に尽力した「コロネクッキー」、買ってみたいなと思いました。
英文科　K.T.さん

会報45号の伊藤美祐さんのお話、入社１年目にして、素晴らしい成果を上げられ、同窓生として、とてもうれしく思いました。これからの時代に必要とされ、それでいて美味しい商品の開発のご苦労が伝わってきました。賞の獲得、おめでとうございました。
食物科　18回生　N.T.さん

役員の皆様、大変お世話になっております。そして感謝いたしております。ありがとうございます。広報誌・編集後記に感慨を深く致しました。現在は、髪にシルバーが目立つようになりましたが、ご連絡等を頂けることを有り難く思います。
食物科　14回生　K.M.さん

役員の皆様、お世話いただき、ありがとうございます。県外在住で何もお手伝いできませんが、毎年送られてくる会報を楽しみにしています。40数年前の出来事を懐かしく思いだしております。
幼児教育科　13回生　M.S.さん

同窓会誌が唯一のそちらとの絆で、楽しみにしています。お世話人の方々、ありがとう存じます。
食物科　18回生　Y.K.さん

いつもありがとうございます。若々しい会報、すてきです。母校とかざし会のますますの発展をお祈りしています。皆様、どうぞお元気で！
被服科　２回生　M.I.さん

いつも会報を送っていただき、ありがとうございます。卒業して37年勤務した職場を退職して、第二の人生を歩み始めたばかりです。学生の時の経験が何をするにも原動力となっています。
幼児教育科　17回生　N.A.さん

会長の挨拶の中に、戸張先生のお話があり、とても懐かしく、お元気でご活躍なさっていらっしゃることをうれしく思いました。当時サイクリングで高田のご自宅まで突然押しかけ、制作中にご迷惑をおかけしたことを思い出しました。今はどこにお住まいなのでしょうか。
幼児教育科　３回生　K.O.さん

かざし会の役員の方々、ご苦労様です。毎年おたより下さり、大学のことが分かって楽しいです。私もまだ幼稚園の仕事に一生懸命で働いております。学校で教えていただいたことをしっかりと子供たちに教えて頑張っております。
幼児教育科　22回生　K.S.さん

第２回卒業生です。かざし会会報、ありがとうございました。当時、「四年制になるといいね」という話が出始め、それが現実になりました。今では、専門分野ごとに大きく、広く、発展し、たくましい新潟県立大学になっています。先生方はじめ、皆様のご尽力に深く感謝申し上げます。この大学で学ばせていただきましたことを誇りに思っております。
被服科　２回生　N.K.さん

近況報告や「かざし会」総会への出欠の連絡を、Googleフォーム等スマートフォンを使った手段も、今後取り入れていただけると良いと思いました。よろしくお願い申し上げます。
健康栄養学科　９回生　M.N.さん

会の運営、ありがとうございます。かざし会の役員の増員ということですが、役員会をオンラインで開催するなど、今後も会を続けていくための方策がありましたら、会報などでお知らせいただけると嬉しいです。新潟にいる方のみが会員となる、では、将来役員のなり手不足に陥ることを心配しております。
健康栄養学科　６回生　R.S.さん

会報を楽しみにしてくださっている方々が多く、記事を読んで、いろいろなことを思い出したり、心を動かしたりしているのが分かり、ありがたいです。今後の運営についてもご意見をいただいておりますので、持続可能な運営を目指して、何を、どのようにできるのか検討していきたいと思います。

かざし会の由来

「かざし」とは、挿頭す―髪挿すの意味で、髪や冠に花や枝を挿すことを言い、後世の花かんざしの源流となります。

『いにしえの　大宮人はいとまあれや
　　桜かざして　ここにつどえる』

と万葉集にも詠われています。また、「理想を掲げる」という意味もあります。

昭和40年、県立新潟女子短期大学１回生が卒業記念に桜の苗を植え、木の成長とともに母校が繁栄し、いつか桜花でおおわれることを期待し同窓会の愛称として命名したものです。

住所が変わっていませんか？

住所変更等は県立大学のホームページ「卒業生の方へ」から、または、スマホ等で下記の二次元コードを読み取り、「登録情報変更届」にアクセスを！

同窓会役員が増えました！

巻末ページの役員名簿をご覧になるとお気づきかと思いますが、昨年度、会則改正を承認していただき、各科同窓会より役員を増やすことができました。ご協力ありがとうございました。次年度より、新たに国際経済学部卒業生が同窓生となり同窓生の輪が広がっていきます。活発な活動のためにも役員希望の方を今後も募ります。

希望の方はかざしルームにFaxでお知らせください。
（025－224－2821）

令和４年度新潟県立大学かざし会決算報告

【収入の部】 （単位：円）（△減）

項目	予算額	決算額	比較	備考
前年度繰越金	1,243,373	1,243,373	0	
入会金(令和元年度繰入)	2,924,877	2,924,877	0	
積立金より繰り入れ	0	0	0	
年会費	1,500,000	1,423,253	△76,747	712名
総会懇親会参加費	150,000	0	△150,000	懇親会未実施
雑収入	500	12,151	11,651	利子・寄付
合計	5,818,750	5,603,654	△215,096	

【支出の部】

項目	予算額	決算額	比較	備考
各学科補助金	1,200,000	800,000	△400,000	30万×2、20万×1
定期幹事会	30,000	38,044	8,044	
総会費	300,000	147,091	△152,909	
かざし室家賃	640,000	635,160	△4,840	
かざし室維持管理費	70,000	71,654	1,654	光熱費等
会議費	100,000	45,215	△54,785	交通費・資料（コピー代）等
役員活動費	350,000	294,147	△55,853	
後援会費（県立大）	34,000	34,000	0	
各科同級会補助金	50,000	0	△50,000	
県立大学生自治会補助金	50,000	100,000	50,000	学生数増
会報発行	1,800,000	1,913,809	113,809	印刷代、送料等
入会年会費納入手続関連	400,000	335,582	△64,418	管理費・振込用紙・印刷代
通信費	90,000	79,316	△10,684	電話料金・切手代他
消耗品費	10,000	4,354	△5,646	
名簿メンテナンス	110,000	110,000	0	
ホームページ管理費	220,000	211,200	△8,800	
文書印刷費	80,000	66,198	△13,802	入学式・卒業式・入会金文書等
雑費	70,000	29,123	△40,877	
慶弔費	30,000	10,000	△20,000	
積立金	0	200,000	200,000	
予備費	184,750	0	△184,750	
合計	5,818,750	5,124,893	△693,857	

次年度へ繰り越し	478,761	＜収入＞5,603,654－＜支出＞5,124,893＝478,761

令和５年度新潟県立大学同窓会かざし会予算（案）

【収入の部】 （単位：円）（△減）

項目	予算額	前年度予算額	比較	備考
前年度繰越金	478,761	1,243,373	△764,612	
入会金(令和元年度繰入)	4,597,064	2,924,877	1,672,187	
積立金より繰り入れ	0	0	0	
年会費	1,500,000	1,500,000	0	
総会懇親会参加費	150,000	150,000	0	
雑収入	500	500	0	利子等
合計	6,726,325	5,818,750	907,575	

【支出の部】

項目	予算額	前年度予算額	比較	備考
各学科補助金	1,600,000	1,200,000	400,000	40万×4
定期幹事会	40,000	30,000	10,000	
総会費	300,000	300,000	0	
かざし室家賃	640,000	640,000	0	
かざし室維持管理費	70,000	70,000	0	光熱費等
会議費	100,000	100,000	0	交通費・資料(コピー代)等
役員活動費	450,000	350,000	100,000	役員数増
後援会費（県立大）	34,000	34,000	0	
各科同級会補助金	50,000	50,000	0	1万×5
県立大学生自治会補助金	100,000	50,000	50,000	学生数増
会報発行	2,000,000	1,800,000	200,000	印刷代、送料等
入会金・年会費納入手続関連	400,000	400,000	0	管理費・振込用紙・印刷代
通信費	90,000	90,000	0	電話料金・切手代他
消耗品費	10,000	10,000	0	
名簿メンテナンス	110,000	110,000	0	
ホームページ管理費	220,000	220,000	0	
文書印刷費	80,000	80,000	0	入学式・卒業式・入会金文書等
雑費	30,000	70,000	△40,000	
慶弔費	30,000	30,000	0	
積立金	300,000	0	300,000	
予備費	72,325	184,750	△112,425	
合計	6,726,325	5,818,750	907,575	

監査報告書

令和５年５月３日

令和４年度新潟県立大学同窓会かざし会会計決算書・通帳・帳簿・領収書の監査を行った結果、適正であることを確認しましたので報告いたします。

監事 川上陽子

※個人情報保護のため印は省略していますが、押印済みの原本は事務局で保管しています。

同窓会費（２千円+手数料）はコンビニでも納められます！

皆さまの会費により、同窓会「かざし会」は運営されています。

会報「かざし」と、各科同窓会の会報誌は、卒業生で住所が登録されている方には、年会費納入を問わず、全員に送らせていただいています。

また学生の意欲的な取組や自治会の活動等への支援にも遣わせていただいています。

郵便振り込みだけでなく、コンビニエンスストアでも納められるようになりました。お買い物のついでに、年会費の振り込みをお忘れなく。どうぞよろしくお願いいたします。

令和４年度（2022年度） かざし会事業報告

令和４年	４月４日	新潟県立大学新校舎竣工式出席（白井会長）
	４月７日	入学式（お祝い文書・かざし会説明文書配布）
	４月25日	かざし奨励賞基金贈呈式（白井会長・中山副会長）
	６月３日	新潟県立大学後援会（書面審査　意見書提出）
	６月５日	定期幹事会（クロスパルにいがた）
	８月１日	会報「かざし」45号発行
	10月２日	総会（新潟県立大学）会報「かざし」45号にて各種議題提案・承認
令和５年	２月17日	かざし奨励賞審査委員会（白井会長・中山副会長・富山副会長）
	３月20日	卒業式（朱鷺メッセ）お祝い文書・かざし会説明文書配布（白井会長）
その他		執行部会　各事業準備　資料作成 会費・入会金納入状況確認 HP更新作業　等

令和５年度（2023年度） かざし会事業計画（案）

令和５年	４月６日	入学式 お祝い文書・かざし会説明文書配布（中山副会長）
	５月30日	新潟県立大学後援会
	６月11日	定期幹事会（クロスパルにいがた）
	８月１日	会報「かざし」46号発行
	10月１日	総会　新潟県立大学　にて
令和６年	２月	かざし奨励賞審査委員会出席
	３月	卒業式出席
その他		執行部会　各事業準備　資料作成 会費・入会金納入状況確認 HP更新作業　等

事務局より

○会費納入をお願いします。

現在は、入学時に「準会員」として入会して「入会金」を頂き、卒業後は「正会員」として「年会費」をお願いしています。ご協力お願いします。

○住所変更等は、必ずご連絡ください。

県立大学のホームページからもできます。

〒951－8052
新潟市中央区下大川前通四ノ町二二三〇－五七
エスカイア大川前一〇三
新潟県立大学同窓会「かざし会」宛
（TEL・FAX ○二五－二二四－二八二二）

○「かざし会」役員を募集しています！

役員になって頂ける方は、何時でもご連絡ください。

編集後記

人々と集える自由、移動の自由。これまで気づかなかったけれど、不自由を経験したことで得られる「自由の喜び」(大げさかもしれませんが)を味わっている日々です。会報編集を通じて同窓の皆様のつながりにお役に立てたらうれしいです。（中山）

多くの方々のご理解とご協力を得て、本号の発行ができますことに感謝申し上げます。会報の内容について、少しずつ変化を取り入れるよう心がけています。読みたい記事や、ご希望、アイデアがありましたら、お知らせください。

今年度の総会も会場は県立大学です。新しい校舎の雰囲気を味わいつつ、懐かしい学生時代に思いを馳せ、充実した時間を過ごしましょう。お待ちしております！（岩田）

本年度から、担当になりました英文16回生の渡部敦子でございます。

かざし会員の皆様が心待ちにしていただけるようなお知らせが出来たら良いなぁと考えております。これからどうぞ宜しくお願い申し上げます。（渡部）

令和５年度　かざし会役員名簿

役職	氏名	専攻
会長（兼かざし奨励賞）	白井智佳子	幼児教育
副会長（兼かざし奨励賞、会計、HP）	富山　歩	国際教育
副会長（兼かざし奨励賞、会報）	中山　知子	幼児教育
会計	谷　良子	食物
会計	住川　敦子	食物
会報	岩田すみ江	英文
会報	渡部　敦子	英文
名簿管理	岩下万紀子	英文
名簿管理	飯田　悦子	英文
企画	小熊　由美	幼児教育
企画	井上　秋江	幼児教育
企画	水澤　和子	食物
企画	木村　吏冴	健康栄養科
企画	立石　香	幼児教育
企画	浦澤　公美	幼児教育
入会金	大和田成矢	国際地域
入会金	中村　有李	国際地域
HP	太田ひかる	健康栄養科
監事	川上　陽子	英文
各科同窓会		
さんしょの会会長	伊藤那悠加	健康栄養科
まなざしの会会長	浅賀美奈子	子ども学科
シュリンプクラブ会長	戸根　喜子	英文
UNPRICE会長	竹石　三彦	国際地域
あかね会	平成29年度で活動休止	
国際教養	平成29年度で活動休止	